

InBody s10

ユーザーマニュアル

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーマニュアル(本書)をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があります。

InBody

InBody S10 に問題が生じたり、臨床に関する質問が生じたりした場合、下記の連絡先までお問い合わせください。

株式会社インボディ・ジャパン

〒136-0071 東京都江東区亀戸 1-28-6 タニビル

TEL: 03-5875-5780 FAX: 03-5875-5781

Website: <https://www.inbody.co.jp> E-mail: inbody@inbody.co.jp

InBody Co., Ltd. (製造元)

625, InBody Bldg., Eonju-ro, Gangnam-gu, Seoul 06106 Republic of Korea

TEL: +82-2-501-3939 FAX: +82-2-578-5669

Website: <https://www.inbody.com> E-mail: info@inbody.com

本書の内容の一部または全てを、無断でコピーしたり他の媒体(磁気、電気、写真等の如何を問わず)やシステムに転用したりすることを禁じます。本書の校正には注意を払っておりますが、誤字・脱字がある可能性があり、予告なしに変更することがあります。(株)インボディ・ジャパンは本書に述べられた必要条件を満たさないことによってもたらされた損害については一切の責任を負いかねます。

InBody に関する更なる機能と結果項目説明などの詳細な情報は、(株)インボディ・ジャパンのホームページ(<https://www.inbody.co.jp>)にて閲覧できます。なお、製品の外観、仕様などは性能改善のために予告なしに変更されることがあります。

InBody S10

ユーザーマニュアル目次

I. InBody 設置	
A. 製品構成	4
B. 設置環境	5
C. 設置方法	5
D. InBody 必須設定	10
II. InBody 測定	
A. 測定前の注意事項	12
B. 測定方法	13
C. 電極装着方法	15
D. 測定姿勢	17
III. 運送と保管	
A. 運搬時の注意事項	20
B. 運送及び保管環境	20
IV. よくある質問	
A. InBody について	21
B. 測定に関して	22
V. その他	
A. 外観及び機能	23
B. バッテリーの使用及び充電	27
C. 表示・安全記号	29
D. 製品分類	29
E. 製品仕様	30

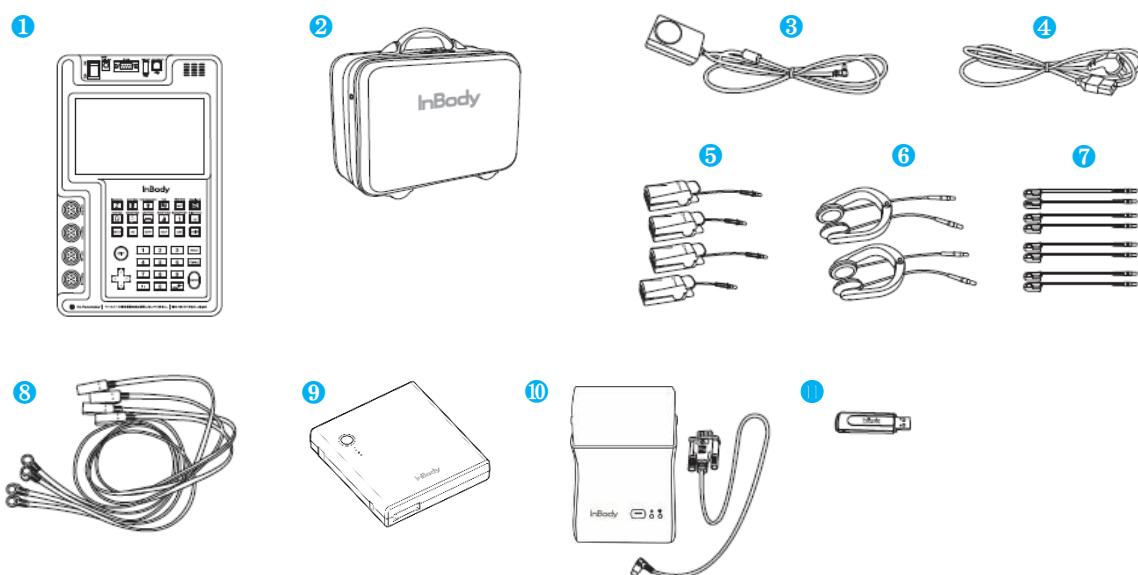
I. InBody 設置

A. 製品構成

InBody S10 の製品構成は次のとおりです。各構成品が全て揃っているか確認してください。

* 設置前に構成品に亀裂などの異常がないか確認してください。

- ① InBody S10 本体
- ② 携帯用バッグ
- ③ 電源アダプタ
- ④ 電源コード
- ⑤ ホルダー式電極 (Touch Type) 手電極 4 個
- ⑥ ホルダー式電極 (Touch Type) 足電極 2 個
- ⑦ 付着式電極ケーブル(Adhesive Type) 8 本
- ⑧ 電極ケーブル
- ⑨ バッテリー (IB Battery220)
- ⑩ サーマルプリンター (TP100)
- ⑪ USB メモリー



注意

- ・バッテリー(IB Battery220)は、(株)インボディ・ジャパンの InBody S10 に接続して使用するために作られています。InBody S10 に接続して使用する用途以外に使用しないでください。
- ・バッテリーは下記の条件で保管してください。
 - a. 直射日光の当たらない涼しい場所で箱に入れて保管してください。
 - b. 長期間保管すると、バッテリーの放電が加速し、バッテリーの性能が低下する可能性があります。長期保管する場合は湿度の低い20~30°Cの乾燥した場所で保管してください。
 - c. バッテリーを3か月以上保管する場合、液漏れや放電による性能低下を防止するために、少なくとも3か月毎に充電してください。

B. 設置環境

InBody S10 を設置する前に設置環境を確認してください。本装置は室内で使用する装置です。室内に設置する場合、必ず下記の基準を満たさなければなりません。

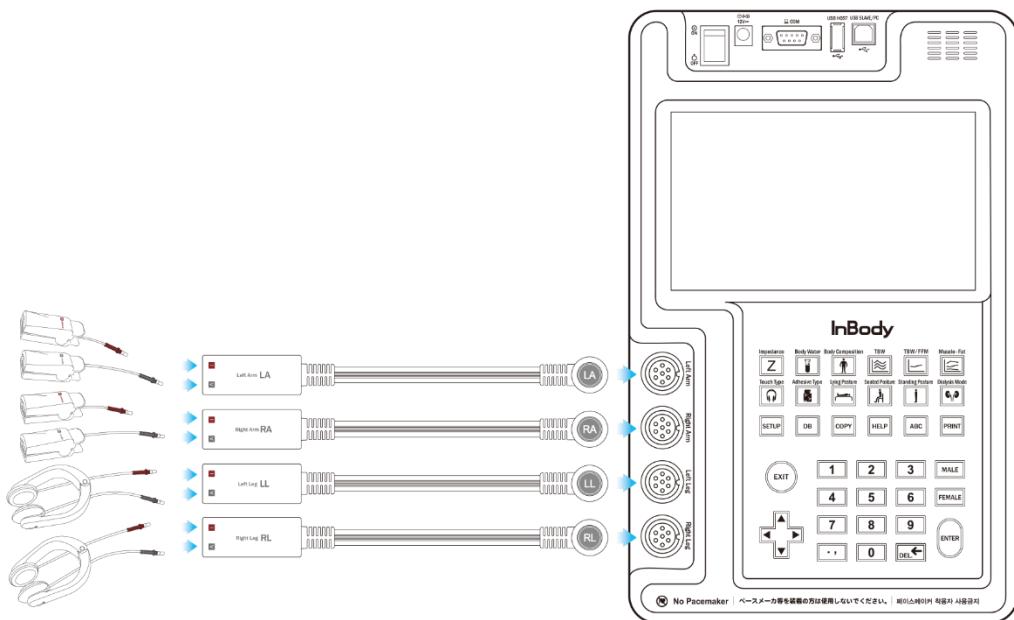
* 設置環境

適正温度	10~40°C	※測定時の室温は 20°C~25°C
相対湿度	30~75% RH	
適正気圧	70~106 kPa	

C. 設置方法

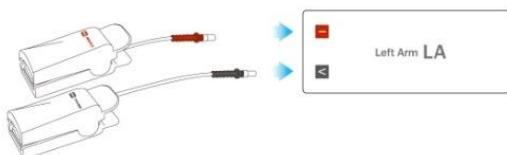
1. ホルダー式電極(Touch Type)の設置

ケーブル差込口の色と同じケーブルを差し込みます。

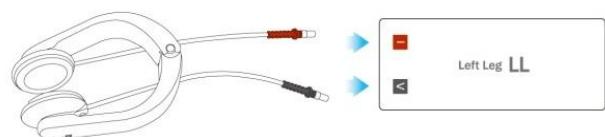


黒色電極は黒色ポート[V]に、赤色電極は赤色ポート[I]に接続してください。

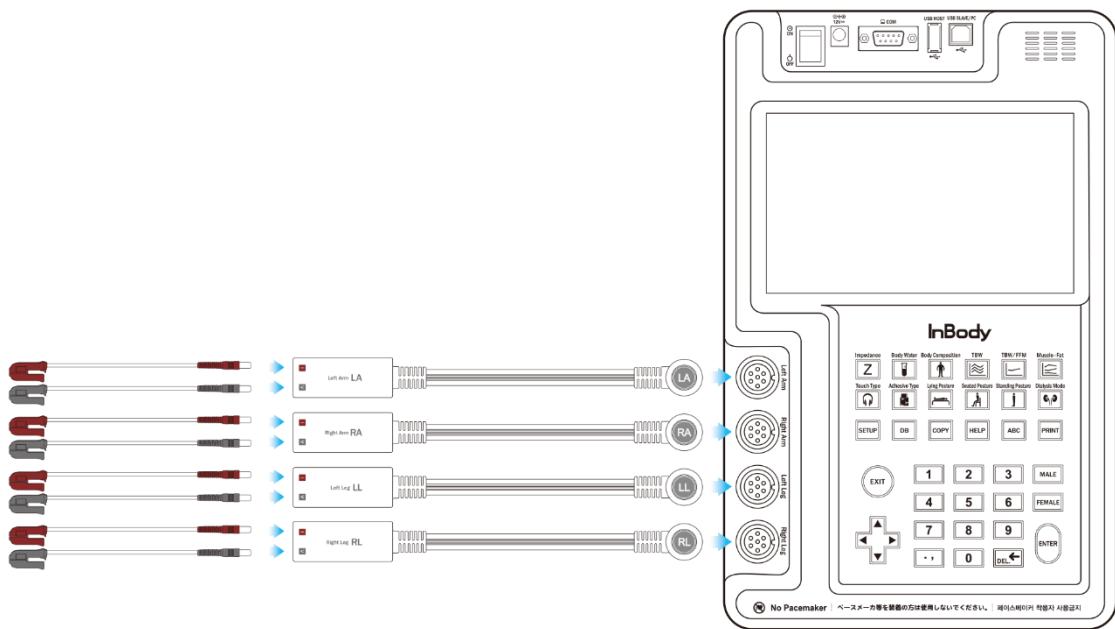
[手電極]



[足電極]



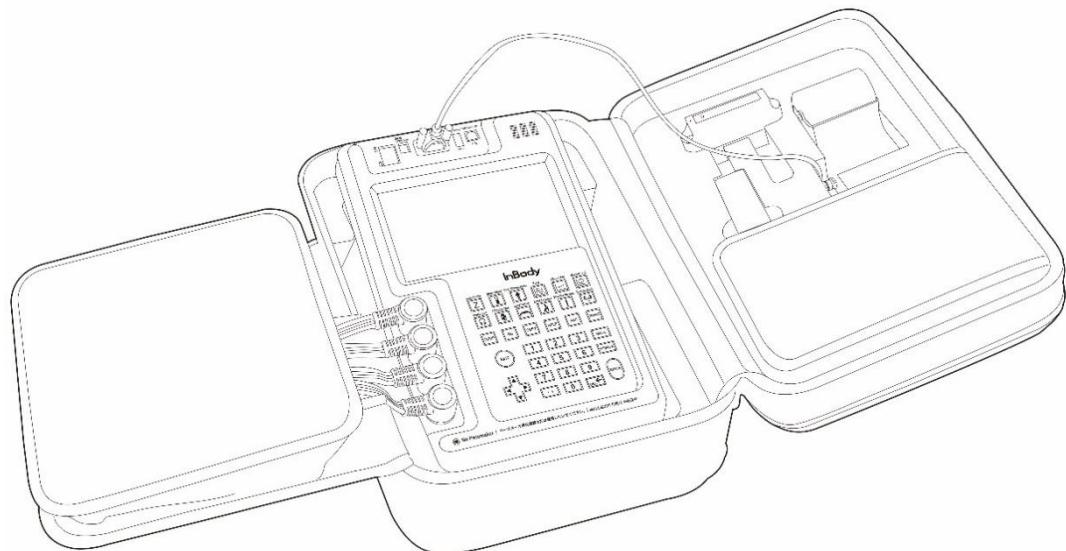
2. 付着式電極(Adhesive Type)の設置



黒色電極は黒色ポート[V]に、赤色電極は赤色ポート[I]に接続してください。

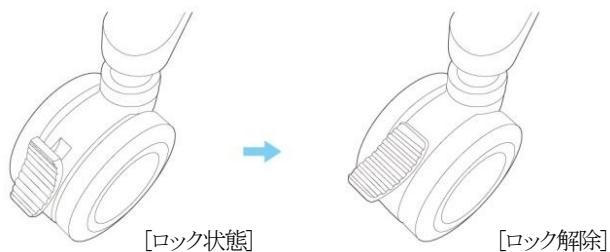


サーマルプリンターを使用する場合、サーマルプリンターと InBody S10の上段のシリアル端子(COMポート)を、サーマルプリンター ケーブルで接続します。



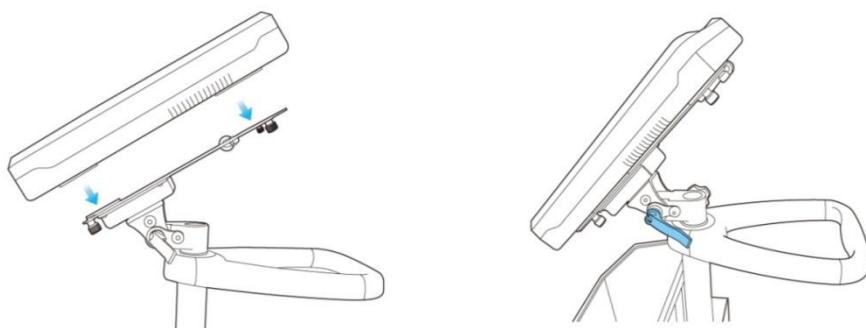
3. 移動用カート(オプション)の設置

1. カートには移動時に便利なキャスターが付いています。下図のようにキャスターのロック/ロック解除ができます。

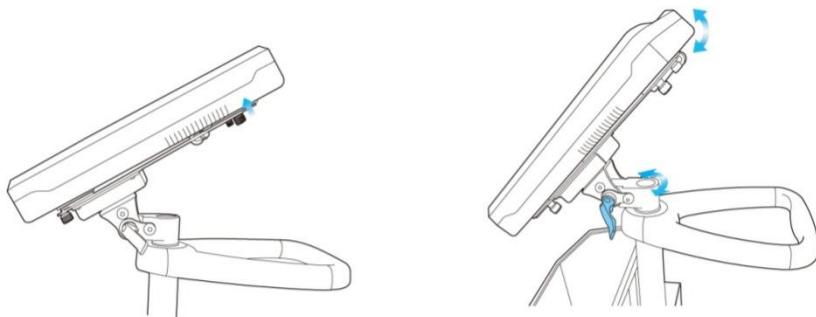


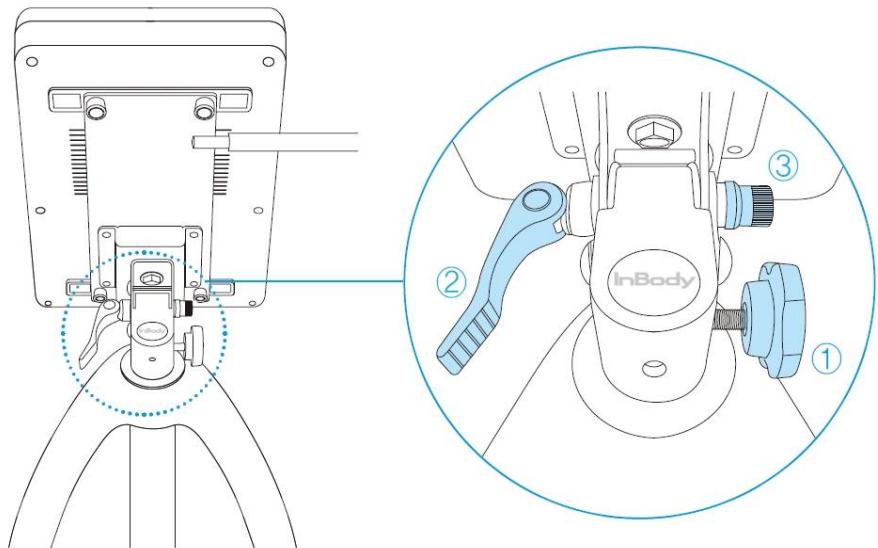
2. カートにInBody S10を固定させます。

InBody S10 本体の後部にある4つのネジ穴とカートのヘッド部の4つのネジの位置を合わせた後、ネジを締めて固定します。



3. 使用しやすい向きと角度に調節してください。





- a. ①は左右の向きを調節する時に使用します。つまみを緩めて左右の方向を調節し、緩めたつまみをもう一度締めます。
- b. ②は上下の向きを調節する時に使用します。②を緩めて上下の方向を調節し、②をもう一度締めます。
- c. ③は②が滑らかに動かないかったり、緩くなったりする時に使用します。ネジを緩めると②が緩くなり、ネジを締めると②が締まります。

4. 電極ケーブルと本体を接続します。

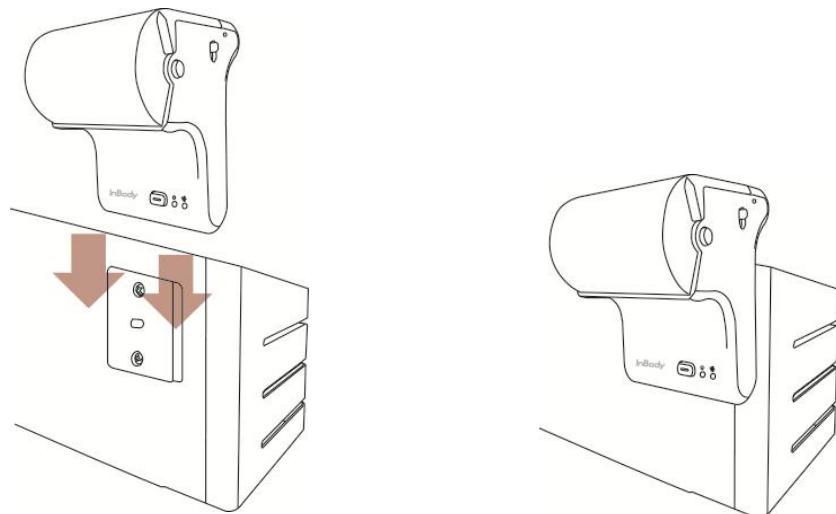
RA(右腕)、LA(左腕)、RL(右脚)、LL(左脚)と書いてある電極ケーブルを本体のそれぞれに対応する箇所に接続します。

5. ホルダー式電極(Touch Type)と、付着式電極(Adhesive Type)用ケーブルの二種類があります。

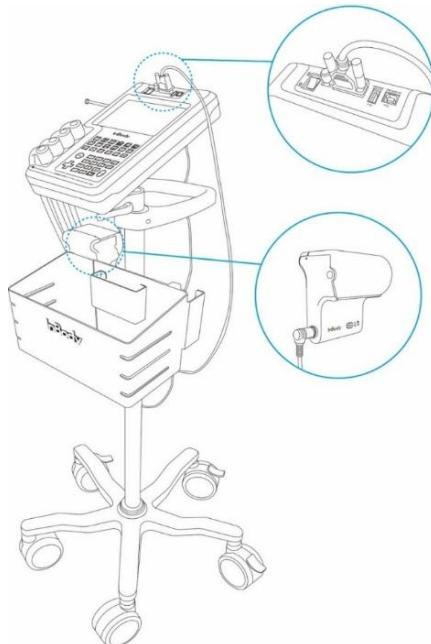
電極の接続方法は、本ユーザーインストラクションマニュアルの5～6ページをご参照ください。

6. カートにサーマルプリンターを設置します。

サーマルプリンターはカゴの裏に設置できます。サーマルプリンターボディを上から下へスライドして取り付けます。



- InBody本体とサーマルプリンターをサーマルプリンターケーブルで接続します。



警告

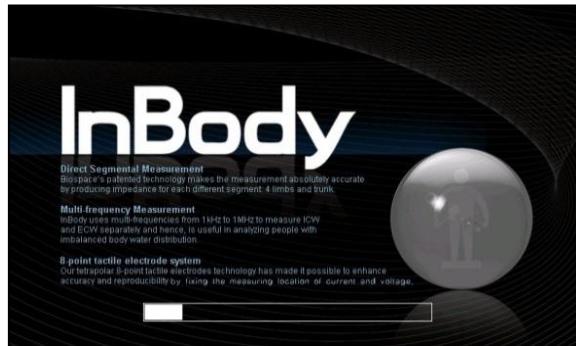
- 電源コードを無理やり引っ張らないでください。
- 濡れた手で電源コードに触れないでください。感電する恐れがあります。
- 規格に合った電源(AC100~240V)コンセントを使用してください。規格外のコンセント使用は、火災や故障の恐れがあります。
- 複数の差し込み口を持つコンセントを使用する場合、電力容量が十分なコンセントや拡張ケーブルを使用してください。
- 製品を任意に分解しないでください。電気的な衝撃、製品の故障及び測定結果が不正確になる恐れがあり、保証の対象外となります。
- 電源が入っている InBody S10 と他の電子機器を接触させないでください。電気的な短絡が発生する恐れがあります。
- 長期間使用しない場合、電源コードを抜いてください。

注意

- InBody S10 をカーペット上で使用すると、装置に静電気による損傷が起きる可能性があります。静電気が発生しやすい場所に設置せざるを得ない場合、静電防止マットや移動用カートを使用してください。
- 電極を洗剤で拭かないでください。洗剤が電極内部に浸透すると、腐食による故障が起きる可能性があります。電極の清掃には抗菌効果のあるウェットティッシュを使用してください。
- 接地を取らない場合、装置が電気的衝撃によって損傷を負ったり、誤作動を起こしたりする可能性があります。また、測定結果が不正確になる可能性があります。
- InBody S10 が電気的な干渉を受けると、測定結果が不正確になる可能性があります。電気的な干渉を与える蛍光灯、大型 AC モーター装置(トレッドミル、エルゴメーター、振動機器、冷蔵庫、エアコン、コンプレッサーなど)、高周波温熱治療器及び電熱機器と InBody S10 を近い距離に設置しないでください。電気的な干渉を与える機器と InBody S10 が同じ電源コンセントに接続されている場合、分離して他のコンセントに接続してください。
- InBody S10 と他の測定装置を接続する場合、他の装置の電源を先に入れてください。電源を遮断するときは反対に InBody S10 の電源を切ってから他の装置の電源を切ってください。InBody S10 への電気的衝撃を最小限にすることができます。
- (株)インボディ・ジャパンが提供するモデルの電源アダプタを使用してください。他の電源アダプタの使用は InBody S10 の故障の原因になります。
- 電熱機器のような熱を発生させる機器の近くで使用しないでください。熱による変形や故障、または火災の原因となる恐れがあります。
- 直射日光が当たらない位置で使用してください。装置の変色や劣化に繋がる恐れがあります。

E. InBody 必須設定

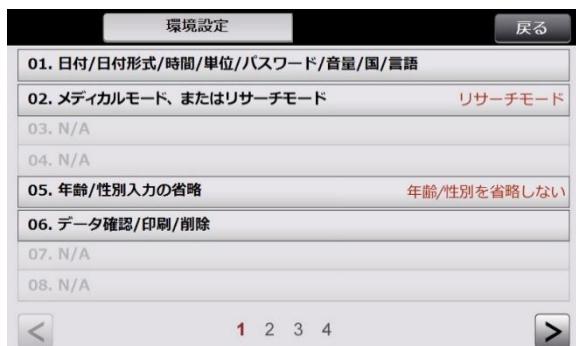
1. InBody S10 の電源を入れると起動を開始します。



2. 初期画面の状態でキーパッドの[SETUP]ボタンを押します。



3. パスワード(初期設定:0000)を入力すると、環境設定の画面が表示されます。



環境設定：測定環境に合うように、InBody S10 の設定変更や測定データを管理できます。

環境設定

戻る

01. 日付/日付形式/時間/単位/パスワード/音量/国/言語
02. メディカルモード、またはリサーチモード リサーチモード
03. N/A
04. N/A
05. 年齢/性別入力の省略 年齢/性別を省略しない
06. データ確認/印刷/削除
07. N/A
08. N/A

< 1 2 3 4 >

01. 日付/日付形式/時間/単位/パスワード/音量/国/言語
02. メディカルモード、またはリサーチモード
03. N/A(使用しません)
04. N/A(使用しません)
05. 年齢/性別入力の省略
06. データ確認/印刷/削除
07. N/A(使用しません)
08. N/A(使用しません)

環境設定

戻る

09. プリンター接続 PCL
10. 結果用紙の種類
11. 自動印刷及び自動印刷枚数 1
12. 結果用紙の印刷用紙 専用結果用紙
13. 結果用紙の項目/説明
14. ロゴ入力
15. 印刷位置の調節
16. N/A

< 1 2 3 4 >

09. プリンター接続
10. 結果用紙の種類 - 体成分結果・体水分結果
11. 自動印刷及び自動印刷枚数
12. 結果用紙の印刷用紙
13. 結果用紙の項目/説明
14. ロゴ入力 - イメージ・テキスト
15. 印刷位置の調節
16. N/A(使用しません)

環境設定

戻る

17. Bluetooth接続
18. N/A
19. N/A
20. 標準範囲
21. N/A
22. N/A
23. タッチスクリーン調節
22. N/A

< 1 2 3 4 >

17. Bluetooth 接続 - 身長計・LookinBody120
18. N/A(使用しません)
19. N/A(使用しません)
20. 標準範囲 - BMI・体脂肪率
21. N/A(使用しません)
22. N/A(使用しません)
23. タッチスクリーン調節
24. N/A(使用しません)

環境設定

戻る

25. 画面ロック
26. シリアルポート接続 サーマルプリンター

< 1 2 3 4 >

25. 画面ロック
26. シリアルポート接続 - LookinBody120・身長計・血圧計・SD400

II. InBody 測定

A. 測定前の注意事項



警告

- 心臓ペースメーカーのような植え込み型医療機器、または生体情報モニタのような生命維持に必要な医療機器を装着されている人を測定しないでください。測定中に微弱な電流が体内に流れるため、装置の故障、生命の危機に繋がる恐れがあります。
- 生体電気インピーダンス分析(BIA)法は微細な電流を利用するので人体に害はありません。しかし、妊婦の方を測定する場合、担当医師または、専門家と相談して測定を行ってください。
- 幼児や一人で立って測定できない方を測定する場合は、仰臥位姿勢で測定を行ってください。
- 伝染性の疾病の方、若しくは手指や足首に怪我のある方は装置に接触させず、付着式電極ケーブルを使用してください。



注意

- 10分くらい同じ姿勢(仰臥位・立位・座位)を維持してから測定してください。姿勢を変えた直後に測定すると、体水分が移動するため、測定結果が不正確になる恐れがあります。
- 空腹状態で測定してください。飲食物の摂取は体重や体成分に影響します。また、消化器官の動きが体幹インピーダンスの測定に誤差をもたらす恐れがあるので、食後は2時間くらい空けてから測定してください。
- トイレを済ませてから測定してください。体内的残余物は体重や体成分に影響するため、測定結果が不正確になる恐れがあります。
- 運動やお風呂・シャワーの前に測定してください。汗を搔いたり、血流が変化したりすると、体成分が一時的に変化する恐れがあります。
- 測定時は大きい金属属性の物(ベッドの柵や車いすの手すりなど)が体に触れないようにしてください。金属が体に接触している状態で測定すると、測定結果が不正確になる恐れがあります。
- 常温(20-25°C)で安定した環境の中で測定してください。気温差が大きい環境の中で測定すると、体成分が一時的に変化する恐れがあります。
- 出来るだけ午前中に測定してください。午後になると体水分が下半身に移動する傾向があるため、測定結果に影響する恐れがあります。
- 指先や足首が乾燥していたり、角質が多かつたりした場合、測定エラーが出る恐れがあります。電解ティッシュで電極に接する部位を十分に拭いてから測定してください。
- 身長と体重を正確に入力してください。身長と体重は体成分の算出に影響するため、誤った数値を入力すると測定結果が不正確になる恐れがあります。
- 測定を定期的に実施して身体の変化を把握したい場合は、測定条件を同一に守ってください。測定結果は常に同じ条件(同じ姿勢、空腹状態、運動前など)で測定して比較する必要があります。

B. 測定方法

1. 機能ボタンから使用する電極の種類を選択してください。
(Touch Type:ホルダー式、Adhesive Type:付着式)
2. 機能ボタンから測定する姿勢を選択してください。
(Lying Posture:仰臥位、Seated Posture:座位、Standing Posture:立位)
3. 透析モードで測定するかどうか、機能ボタンで選択します。(Enable:有効、Disable:無効)
測定時点(透析前/中/後)の選択と、アクセスの部位、麻痺部位を設定することができます。
4. 体内の体水分の状態を整えるために、10分くらい同じ姿勢で安静にしてください。その後、正しい測定姿勢をとります。
5. 15ページの電極装着方法を参考に、測定者の両指と両足に電極を装着します。
6. 個人情報を入力します。



注意

- ・個人情報の入力中に該当項目の入力範囲から外れると、エラーメッセージが表示されます。再度測定者の個人情報を入力してください。
- ・皮膚が乾燥して測定ができない場合、エラーメッセージが表示されます。(株)インボディ・ジャパンで提供している電解ティッシュで十分に電極接触面を拭いてから、「ENTER」ボタンを押して再測定してください。

7. 個人情報を入力した後、電極が正しく装着されていることを確認してください。測定準備が完了し、「ENTER」ボタンを押すとInBody測定が始まります。
8. 測定中はLCD画面にインピーダンス、リアクタンス、位相角の測定進歩状況が表示されます。測定を中断したい時は「EXIT」ボタンを押してください。また、「ENTER」ボタンを押すと、再測定が開始されます。

9. 測定が完了したら、結果画面が表示されます。プリンターが接続されている場合、設定している結果用紙の出力形式に応じて測定結果が印刷されます。

I.D. naoki25		体重 68.5 kg	身長 173.7 cm	年齢 28	性別 男性	
		右腕	左腕	体幹	右脚	左脚
Z(Ω)	1 kHz	398.8	399.2	29.4	298.5	297.8
	5 kHz	395.9	396.2	29.3	297.0	296.6
	50 kHz	327.1	326.5	25.4	252.1	253.3
	250 kHz	305.3	305.6	23.2	231.3	231.0
	500 kHz	303.8	303.6	22.9	229.5	229.1
	1000 kHz	302.7	302.4	22.9	228.5	227.9
Xc(Ω)	5 kHz	17.3	18.0	0.8	9.3	8.8
	50 kHz	39.3	38.7	2.8	31.2	31.7
	250 kHz	11.2	10.7	0.0	9.3	9.7
Phase Angle(θ)	5 kHz	2.5	2.6	1.5	1.8	1.7
	50 kHz	6.9	6.8	6.4	7.1	7.2
	250 kHz	2.1	2.0	0.1	2.3	2.4

InBody s10
 InBody測定中 100%

· Electrode | Touch Type
 · Posture | Lying Posture
 · Dialysis Mode | Disable
 · 2011/11/11 13:54:34 PM

10. LCD画面にはインピーダンス、リアクタンス、位相角の測定結果を表示します。情報ウインドウを利用して、確認する項目を機能ボタンから選択してください。該当する項目の結果や履歴結果が確認できます。この場合、LCD画面の右側に表示されるアイコンや文字等を押しても画面は変わりません。「EXIT」ボタンを押すと、結果画面を終了し、初期画面に戻ります。

I.D. naoki25		体重 68.5 kg	身長 173.7 cm	年齢 28	性別 男性	
		右腕	左腕	体幹	右脚	左脚
Z(Ω)	1 kHz	398.7	399.1	29.4	298.5	297.7
	5 kHz	395.9	396.1	29.3	297.0	296.5
	50 kHz	327.1	326.5	25.4	252.1	253.3
	250 kHz	305.2	305.5	23.2	231.2	230.9
	500 kHz	303.7	303.5	22.9	229.4	229.0
	1000 kHz	302.4	302.1	22.9	228.3	227.6
Xc(Ω)	5 kHz	17.3	18.0	0.8	8.8	8.8
	50 kHz	39.3	39.2	2.8	31.2	31.7
	250 kHz	11.2	10.7	0.1	9.7	10.1
Phase Angle(θ)	5 kHz	2.5	2.6	1.5	1.7	1.7
	50 kHz	6.9	6.9	6.4	7.1	7.2
	250 kHz	2.1	2.0	0.2	2.4	2.5

InBody s10
 Z インピーダンス結果です。

· Electrode | Touch Type
 · Posture | Lying Posture
 · Dialysis Mode | Disable
 · 2011/11/11 13:42:45 PM

C. 電極装着方法

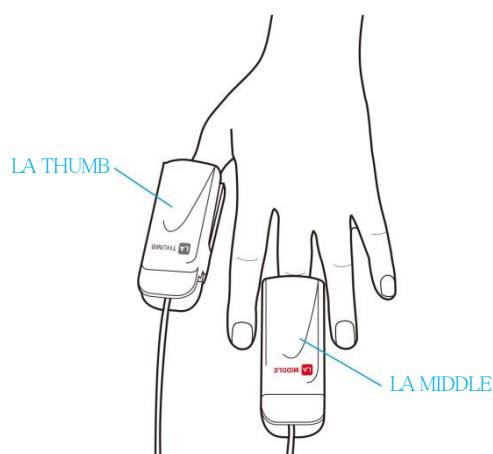
電極はホルダー式電極(Touch Type)と付着式電極(Adhesive Type)の二種類の電極が使用できます。RA(右指)、LA(左指)、RL(右脚)、LL(左脚)をよく確認してください。

ホルダー式電極 (Touch Type)

ホルダー式電極は両指・両足に、下図のように取り付けます。

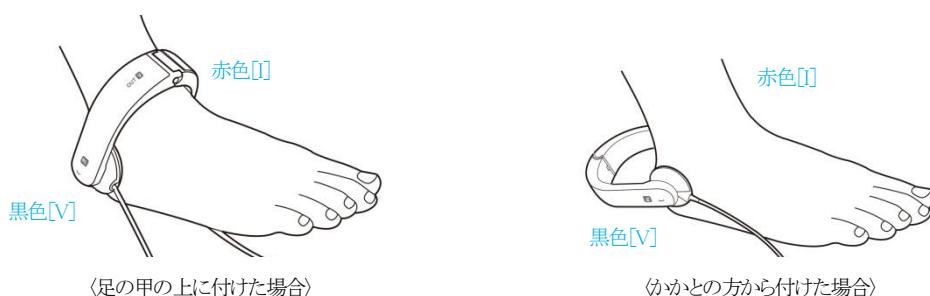
手電極

- LA は左指に、RA は右指に取り付けます。金属のある通電面が指の腹側に接触するようにし、THUMB と表示されている電極は親指に、MIDDLE と表示されている電極は中指に取り付けます。



足電極

- LL は左足に、RL は右足に取り付けます。足電極がくるぶしとかかとの間に位置するようにし、できるだけ広い面積で電極と接するようにします。
- [I]と表示されている部分が足の内側に、[V]と表示されている部分が足の外側に接するようにします。



注意

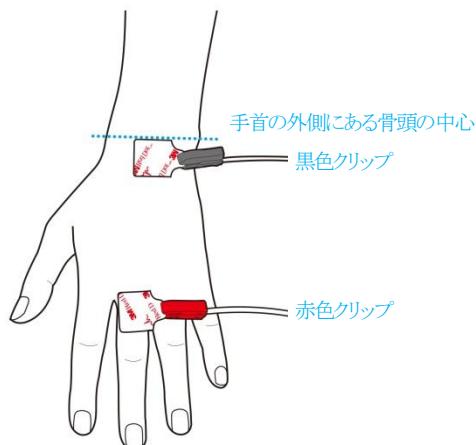
- 足電極を付けるとき、足の甲が厚くて前側から付けにくい場合は、かかと側から付けてください。
- 手足が乾燥している方は、測定ができないか、または不正確に測定されることがあります。電極の接触箇所を電解ティッシュで濡らしてから測定してください。

付着式電極 (Adhesive Type)

付着式電極は両手・両足に、下図のように貼り付けます。

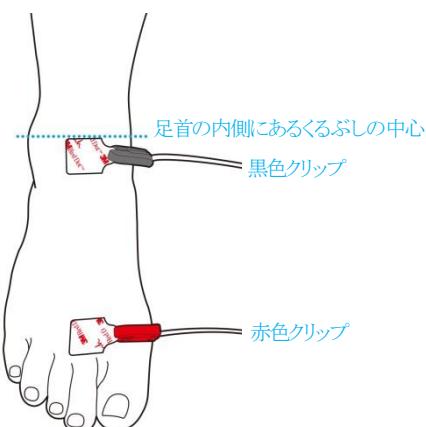
手電極

手首の外側にある骨頭の中心から平行線を引いたとき、図のように平行線に付着電極の上段が接するようにし、もう一つは中指の根元部分に付けます。



足電極

図のように足首の内側にあるくるぶしの中心から平行線を引いたとき、図のように平行線に付着電極の上段が接するようにし、もう一つは第二指の根元部分に付けます。



* 付着電極は測定者の身体と直接触れますので、医療機器承認・認証を得た製品をお使いください。

品番: ブルーセンサー(BS-TAB-2300)

もう一度確認してください。

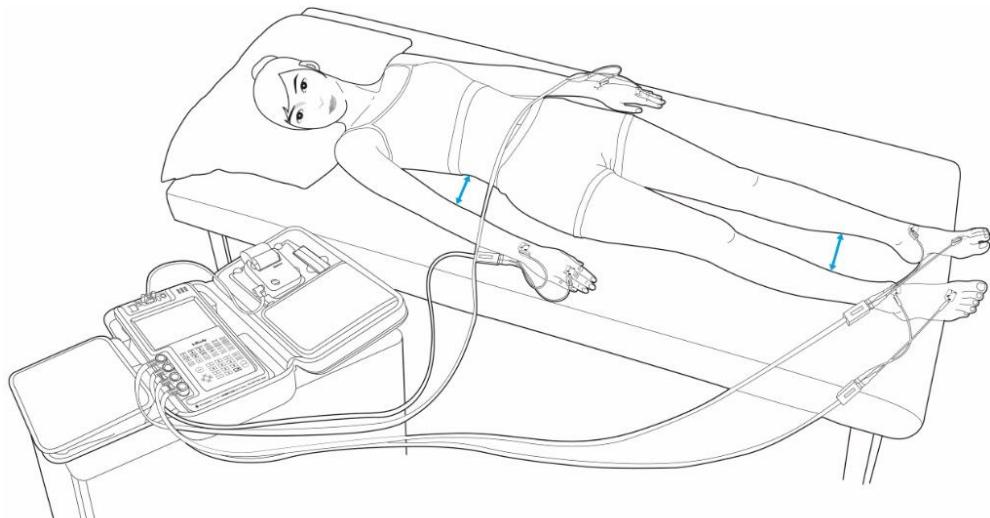
- ・測定前に10分くらい同じ姿勢を維持してください。
- ・それぞれの測定姿勢を正確に確認してから測定します。
- ・肌と肌が触れ合わないようにします。特に、腕と体、脚と脚が触れ合わないようにします。
- ・体に金属や電気が流れる物体が触れないようにします。但し、触れざるを得ない状況であれば、電気が流れない布や毛布等で体を覆うか敷いてください。
- ・測定中は、測定者の体に他の人が接触しないようにします。
- ・体重測定時には、なるべく体を軽くして測定し、正確に測定された体重を入力して測定します。

D. 測定姿勢

正確に測定していただくためには、測定中に正しい姿勢を維持する必要があります。

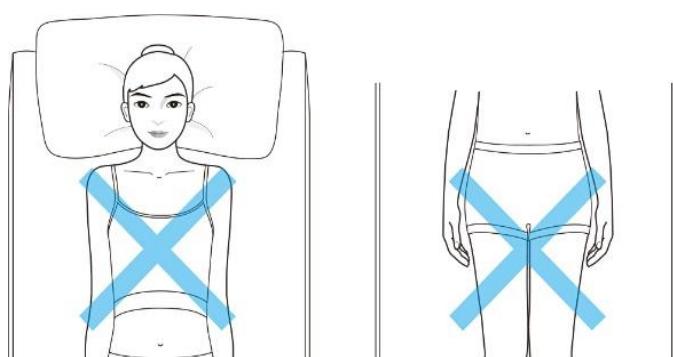
1. 仰臥位 (Lying Posture)

- 腕と体が接しないに腕を 15° 程度広げてください。
- 両脚の太ももが接しないように、脚を肩幅程度に広げてください。



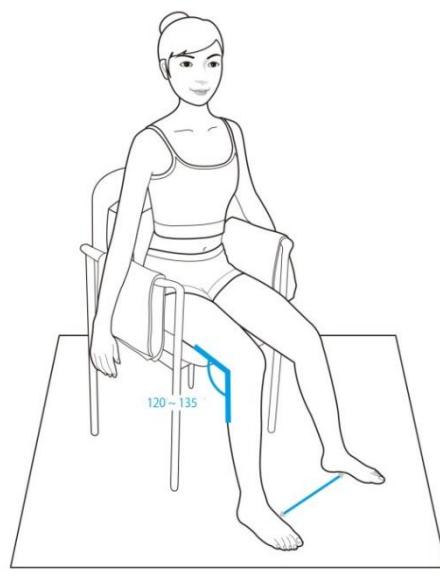
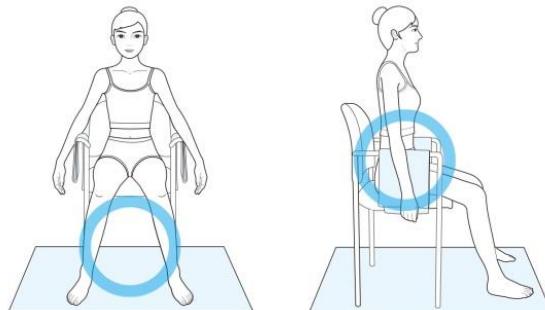
注意

- 測定前に 10 分くらい 仰臥位姿勢での安静を取り、測定を行ってください。
- 鉄製フレームのベッド上で測定する場合、電極ケーブル及び身体の一部が鉄製フレームに接触しないように注意してください。
- 床やマットの上に温熱マット(電気毛布)が敷かれている場合、必ず電源をオフにし、なるべくプラグをコンセントから抜いた後に測定してください。



2. 座位 (Sitting Posture)

- ・背もたれに接しないように、腰を伸ばして椅子に座ります。
- ・背中の後ろにクッションを入れることをお勧めします。
- ・腕をまっすぐに伸ばします。
- ・太ももと太ももが接しないようにします。
- ・脚を垂直にせずに、多少前の方に伸ばします。



注意

- ・座位姿勢が正確であるか確認した後、測定を行ってください。
- ・測定前に10分くらい座位姿勢での安静を取り、測定してください。
- ・裸足で床面に直接触れると測定結果が不正確になる可能性があります。電気が流れないマットなどを床に敷いてその上に足を置いて測定してください。
- ・金属製の椅子や車いすで測定する場合、皮膚や電極ケーブルが手すりなどの金属と直接触れないようにしてください。毛布のような電気が流れない物を金属の上に覆うか、または敷いてください。
- ・付着式電極(Adhesive Type)使用時は、電極ケーブルの重さで付着電極が外れやすいので注意してください。

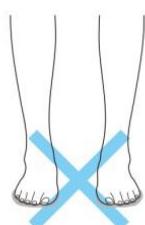
・腕を椅子の肘掛けに乗せないでください。



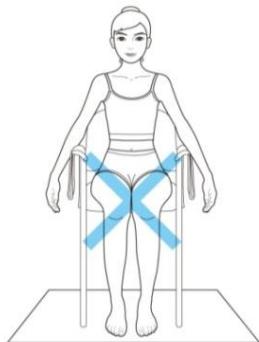
・裸足のまま床面の上で測定しないでください。

電気が流れないマット等を床に敷くことをお勧めします。

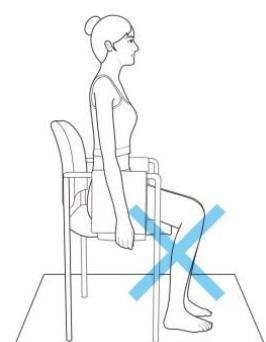
・腰を曲げないでください。



・太ももと太ももが接しないようにしてください。

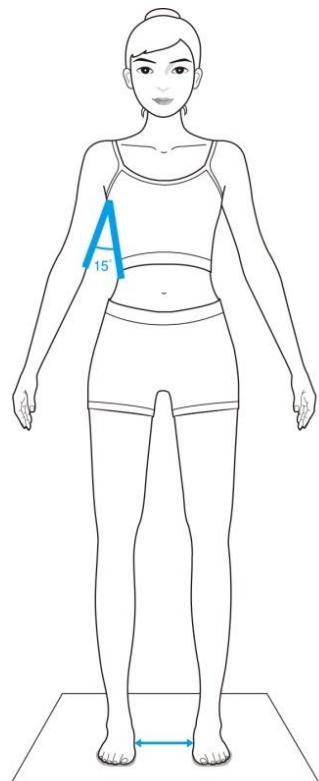


・足を曲げずに前の方に伸ばしてください。



3. 立位 (Standing Posture)

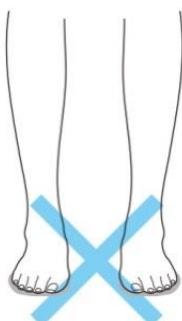
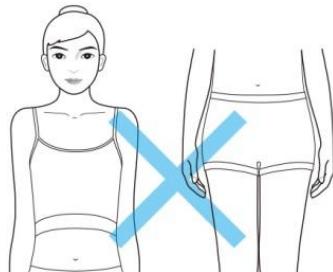
- 腕と体幹が触れないように、腕を15°程度広げてください。腕は自然に下ろします。
- 両脚の太ももが触れないように、脚を肩幅程度に広げてください。



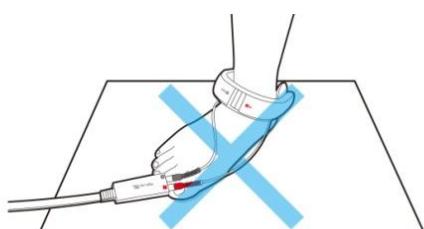
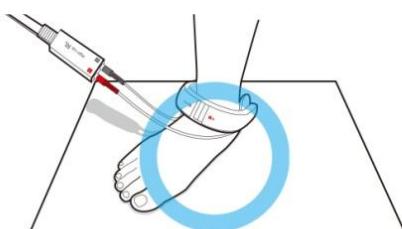
⚠ 注意

- 10分くらい立った姿勢を維持した後、測定を行ってください。
- 裸足のまま床面に直接立たないで、電気が流れないマット等の上で測定することをお勧めします。
- 電極ケーブルが床面を引きずらないように、ケーブルの長さを調節してください。
- ホルダー式電極(Touch Type)使用時はくるぶしとかかとの間に位置するようにし、電極が体にしっかりと接触するようにしてください。
- 付着式電極(Adhesive Type)使用時は、電極ケーブルの重さで付着電極が外れやすいので、注意してください。

- 腕と体が接しないように、また太ももと太ももが接しないようにしてください。



- 電極を装着する際、電極ケーブルが床面に接しないようにしてください。ケーブルをカートや他の物に掛けることをお勧めします。

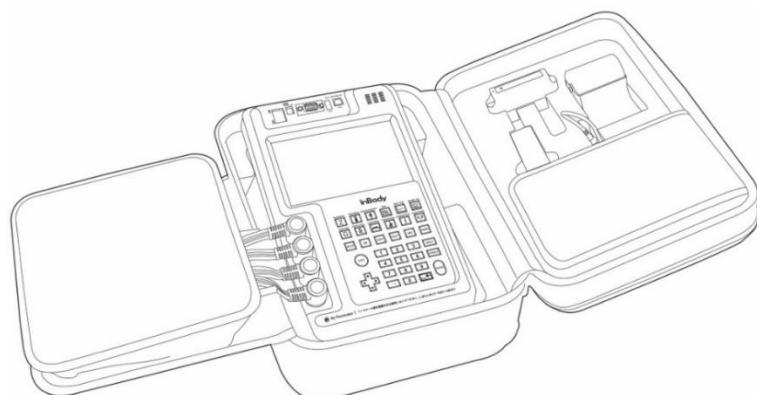


III. 運送と保管

A. 再梱包の方法

InBody S10 の設置を完了してから装置を再梱包して運搬する場合は、下記の手順で再梱包してください。

1. InBody S10 の電源を切ってください。
2. 接続されている電源コードやプリンター接続線等を取り外してください。
3. 取り外したコード類は携帯用バッグに収納してください。



4. 携帯用バッグを利用すると、楽に携帯できます。



B. 運送及び保管環境

InBody S10 を安全に運送または保管するには、下記の基準を満たす必要があります。

温度較差	-10～70°C
相対湿度	10～80% RH (結露がないこと)
適正気圧	50～106kPa

IV. よくある質問

質問に対する回答が見つからなかった場合や、その他臨床に関する疑問が生じた場合は、(株)インボディ・ジャパンまでお問い合わせください。

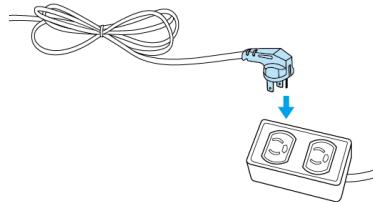
A. InBodyについて

InBody S10 で何か問題が生じた場合、下記の解決策をご確認してください。

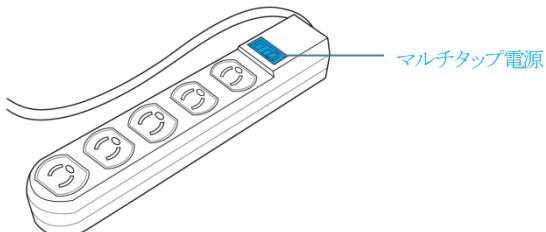
質問	回答
----	----

- 電源が入りません。

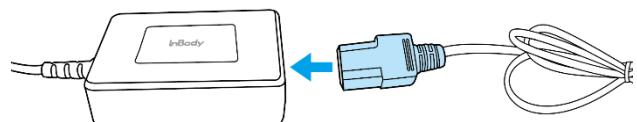
- 電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。



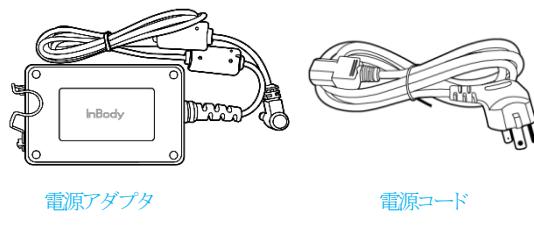
- マルチタップを使用する場合、マルチタップの電源が切れていると電源が入りません。電源が入っているマルチタップか確認してください。



- 電源コードが電源アダプタの接続端子にしっかりと挿入されていないと電源が入りません。電源コードを電源アダプタの接続端子にしっかりと差し込んでください。



- (株)インボディ・ジャパンが提供しない電源アダプタ・電源コードを使用した場合、電源が入らない場合があります。必ず弊社で提供した電源アダプタ・電源コードを使用してください。



質問	回答
・画面タッチが上手くできません。	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定の「23. タッチスクリーン調節」でタッチする正確な位置を補正してください。 * InBody S10 のタッチスクリーンは減圧式です。指先に一定の力を入れて押してください。

B. 測定に関して

InBody 測定に関する質問と回答は下記のとおりです。

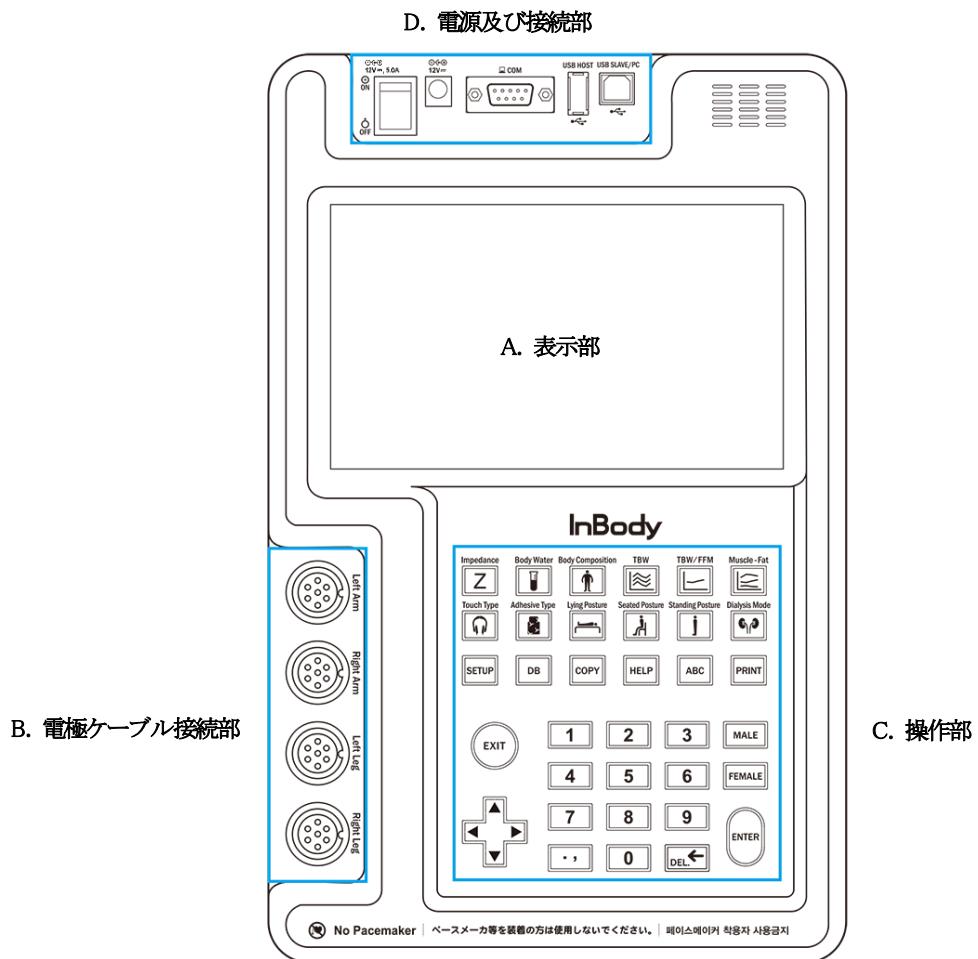
質問	回答
・必ず靴下やストッキングを脱がないといけませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 靴下やストッキングを着用した状態で測定をすると、体内に電流が流れにくくなり、正確な測定ができなくなります。必ず皮膚が電極に直接触れた状態で測定する必要があります。
・アクセサリや金属製の時計を着用して測定しても問題ないですか。	<ul style="list-style-type: none"> アクセサリや金属製の時計が電流の流れる場所にあると、測定結果に影響する場合があります。しかし、電流が流れない場所にあるイヤリングや眼鏡などの顔周辺アクセサリは着用したままでも問題ありません。正確な測定のために出来るだけ外すことをお勧めします。
・InBody 測定を絶対してはいけないケースはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> 心臓ペースメーカーのような植え込み型医療機器、または生体情報モニタのような生命維持に必要な医療機器を装着されている方を、絶対に測定しないでください。測定中に微弱な電流が体内に流れるとため、該当の医療機器が誤作動する恐れがあります。
・体内に金属製のインプラントを挿入している場合、測定しても問題ないですか。	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の面では全く問題ありませんが、金属製のインプラントは体水分より伝導率が高いため、測定結果に影響する可能性が高いです。
・電解ティッシュを使用する必要はありますか。市販のウェットティッシュを代わりに使用できますか。	<ul style="list-style-type: none"> InBody S10と一緒に提供される電解ティッシュは、一般的のウェットティッシュとは違って、最適な測定ができるよう専用に作られたものです。正確な測定のためには電解ティッシュを使用してください。
・測定時に体内に流れる電流は人体に害はありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> InBody は微弱な電流を使用するため、人体に全く害を与えることはありません。InBody はアメリカ FDA、ヨーロッパ CE など世界各国の医療機器承認・認証を受けており、その安全性は立証されています。
・InBody 測定はどのくらいの頻度で実施するのがよいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 2週間～1ヶ月に1回の間隔で測定すると、栄養・運動処方、リハビリ指導に InBody の測定結果を効果的に使用することができます。 頻繁に測定するより、一定間隔の測定から体成分の変化を把握していただくことをお勧めします。 <p>* 体成分の変化は InBody S10 の測定画面か結果用紙から確認することができます。</p>
・正確な測定結果のために必ず守るべき注意事項には何がありますか。	<ul style="list-style-type: none"> 本ユーザーマニュアルの「II. InBody 測定 A. 測定前の注意事項」を参照してください。

V. その他

A. 外観及び機能

InBody S10 の各部分の名称と機能は次のとおりです。

* 設置前に各部分に亀裂などの異常がないか確認してください。



A. 表示部

測定の各進行段階やメッセージ、測定結果等を LCD 画面に表示します。

B. 電極ケーブル接続部

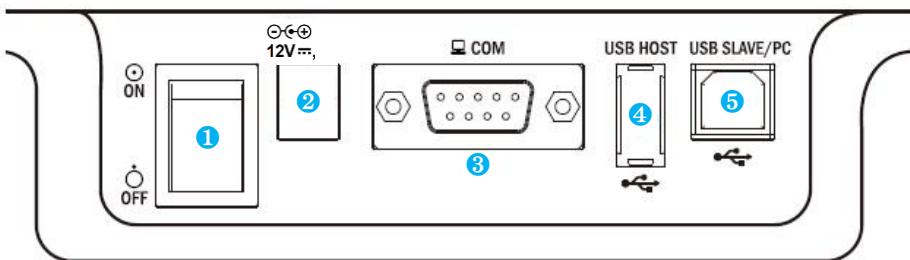
InBody 本体内部の回路に電極ケーブルを接続します。

C. 操作部

キーパッドで構成されていて、入力ボタンと機能ボタンに分かれます。入力ボタンは、InBody 測定時、必要な情報を入力する時に使用します。装置の環境設定を変更したり、保存されたデータを検索したりする時には機能ボタンを使用します。

D. 電源及び接続部

PC やプリンタ等の周辺装置と接続してデータ連携する部分です。

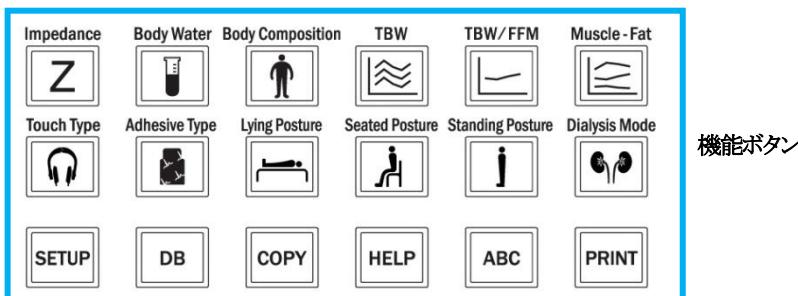


- ① 電源スイッチ: InBody S10の電源をオン/オフします。
- ② 電源入力端子: 電源アダプタを接続する端子です。
- ③ 9ピンシリアル雌型端子(COMポート:RS-232C): サーマルプリンターを接続する端子です。
- ④ USB HOST端子: プリンターと接続する端子です。
- ⑤ USB SLAVE端子: LookinBodyを使用するPCと接続する端子です。

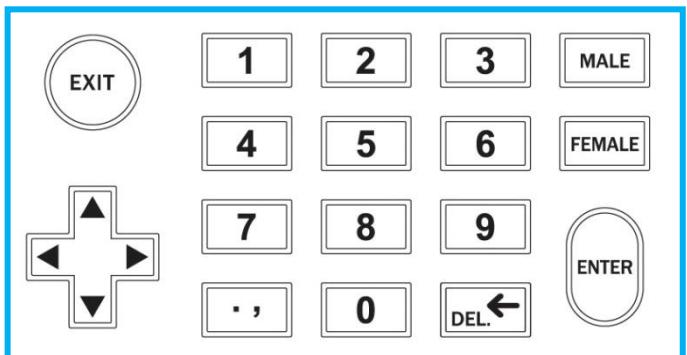


注意

- ・InBody S10 と外部機器を有線で接続する際は、InBody S10 がケーブルに引っ張られないように注意してください。
- ・有線ケーブルは通行が頻繁な通路側を避けて配置してください。ケーブルに引っ掛かり怪我をする恐れがあります。
- ・(株)インボディ・ジャパンが推奨していない外部機器と InBody S10 を接続しないでください。InBody S10 の故障の原因になる可能性があります。



機能ボタン



入力ボタン

測定結果の確認

Impedance

- ①  インピーダンスの測定結果を確認できます。

Body Water

- ②  体水分の測定結果を確認できます。

Body Composition

- ③  体成分の測定結果を確認できます。

TBW

- ④  細胞内水分量・細胞外水分量・体水分量の履歴結果を確認できます。

TBW/FFM

- ⑤  TBW/FFM(除脂肪量に占める体水分量の比率)を確認できます。

Muscle - Fat

- ⑥  体重-筋肉量-体脂肪量の履歴結果を確認できます。

電極方式の選択

Touch Type

- ①  ホルダー式電極(Touch Type)で測定する時に選択します。

Adhesive Type

- ②  付着式電極(Adhesive Type)で測定する時に選択します。

測定姿勢の選択

Lying Posture

- ①  横になった姿勢で測定する時に選択します。

Seated Posture

- ②  座った姿勢で測定する時に選択します。

Standing Posture

- ③  立った姿勢で測定する時に選択します。

透析モードの選択

Dialysis Mode

- ①  透析モードで測定したい場合、Dialysis Mode を設定して測定してください。
個人情報の入力段階で測定時点(透析前/中/後)の選択と、アクセスの部位・麻痺部位を設定ができます。
※ この機能は測定者情報を記載するためのもので、設定によって測定値の算出には影響しません。

その他の設定

- ①  使用環境を変更する時に使用します。
- ②  保存されている測定結果を検索する時に使用します。
- ③  USB メモリーを挿入して InBody 本体に保存されたデータを、USB メモリーにコピーする時に使用します。
- ④  ヘルプが必要な時に使用します。
- ⑤  I.D.入力中、文字入力をする時に使用します。
- ⑥  結果用紙を追加印刷する時に使用します。

入力ボタン

- ①  進行中の操作の取消し、前段階への戻り、結果画面から待機画面に変える時に使用します。
- ②  上下左右 4 つの方向で構成されています。矢印の方向を押して移動できます。
- ③ 数字(0~9)、体重、身長、年齢等のデータや I.D. を入力する時に使用します。
- ④  体重、身長等を入力する時に小数点/カンマが入力できます。
- ⑤  入力されたデータを修正、または削除する時に使用します。
- ⑥   測定者の性別を入力する時に使用します。 Male(男性) / Female(女性)
- ⑦  個人情報を入力する時に各入力値を適用するか、または各内容を確定する時に使用します。

B. バッテリー(IB Battery220)の使用及び充電

バッテリー(IB Battery220)は、InBody で使用するために作られています。バッテリーを InBody S10 に使用する用途以外に使用しないでください。InBody S10 をカードで移動させたり、外部に持ち運んで測定したりする場合、バッテリーを使用することで電源コードを抜いても測定することができます。



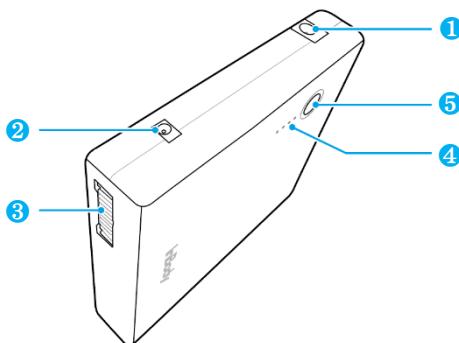
注意

- ・バッテリーの寿命は使用する環境に影響を受けるため、湿度の低い室内で使用することを推奨します。

1. バッテリーの構成

外観および機能

- ① 電源アダプタ連結端子: バッテリーのみを充電するときに、電源アダプタと接続して使用します。
- ② ケーブル連結端子: 本体とバッテリーを外部ケーブルで接続するときに限って使用します。
- ③ 本体連結端子: 本体とバッテリーを直接接続する端子です。
- ④ バッテリー残量表示 LED: バッテリーの残量を LED で表示します。
- ⑤ バッテリー残量確認ボタン: 「ピッ」と音がするまで押すと、約 3 秒後に 4 つの LED で残量を表示します。



2. バッテリーの操作方法

1) 初めて使用する場合

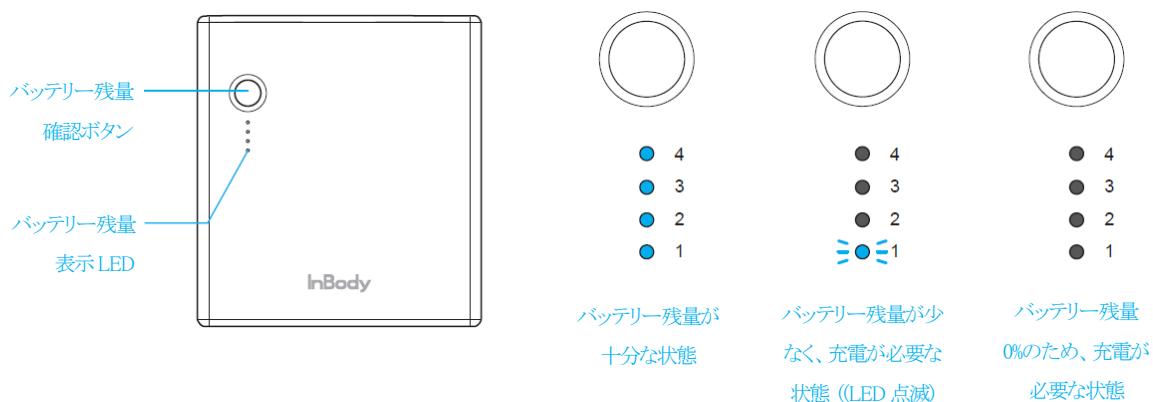
バッテリー残量を確認してください。バッテリー残量確認ボタンを「ピッ」と音がするまで押すと、約 3 秒後に 4 つの LED で残量を表示します。

2) 充電する場合

電源アダプタと接続して充電することができます。充電が完了すると 4 つの LED が全て点灯し、点滅が止まります。

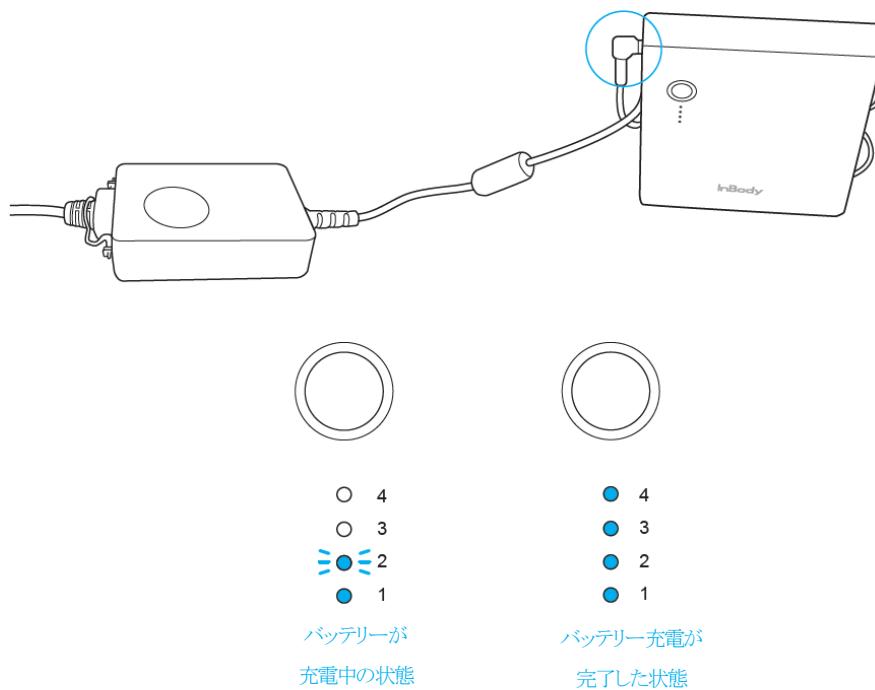
3. バッテリー残量の確認方法

バッテリー残量確認ボタンを「ピッ」と音がするまで押すと、約3秒後に4つのLEDで残量が表示されます。バッテリーの残量が完全になくなる前は最後のLEDが点滅し、ビープ音が鳴ります。ビープ音が鳴ったら、バッテリーを充電してください。



4. バッテリーの充電方法

InBody S10 の電源アダプタを使用して、バッテリーを充電できます。バッテリーの残量は点灯しているLEDの数で確認することができ、充電中はLEDが点滅します。充電が完了すると、ビープ音が鳴ります。



注意

- 必ず InBody S10 に付属されている電源アダプタを使用して充電してください。

C. 表示・安全記号

表示事項



9 ピンシリアルポート (RS-232C)



USB ポート

安全記号



危険の高い電圧



警告/注意



BF 型装置



電源アダプタ連結端子

その他記号



機器を分解しないでください。



注意

- この装置は電磁妨害に対するクラス A の適合機器であり、全ての地域で利用することができます。
- 当該無線設備は運用中に電波混線の可能性があるため、人命の安全に関するサービスの提供はできません。

D. 製品分類

製品分類	DSM-BIA 方式の体成分分析装置 (Body Composition Analyzer of Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis Method)	
	電撃に対する保護形式	クラス I
	電撃に対する保護程度	BF 型
	電磁妨害に対する等級	クラス A
	防水性に対する保護等級	通常機器(液体の侵入に対して保護されていない外装の機器)

E. 製品仕様

生体電気のインピーダンス(BIA)測定項目	生体電気インピーダンス(Z)	6種類の周波数(1kHz、5kHz、50kHz、250kHz、500kHz、1000kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)にインピーダンス(Z)を測定
	リアクタンス(Xc)	3種類の周波数(5kHz、50kHz、250kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)にリアクタンス(Xc)を測定
	位相角(θ)	3種類の周波数(5kHz、50kHz、250kHz)で、全身と5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)に位相角(θ)を測定
電極方式	8点接触式電極法、8点付着式電極法	
測定方法	部位別直接多周波測定法(Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis Method、DSM-BIA方式)	
結果項目	[全身・部位別] 体水分量、細胞内水分量、細胞外水分量、細胞外水分比(ECW/TBW)、筋肉量、体脂肪量 [全身] 体重(入力値)、BMI、体脂肪率、除脂肪量、タンパク質量、ミネラル量、骨ミネラル量、骨格筋量、体細胞量、基礎代謝量、水和率(TBW/FFM)、除脂肪指数(FFMI)、体脂肪指数(FMI)、骨格筋指数(SMI)、適正体重、筋肉調節、脂肪調節、体重調節、目標体重 [部位別] 周囲長(首、胸部、腹部、臀部、右腕、左腕、右太もも、左太もも) [その他] 体成分履歴(8回分測定結果)、インピーダンス(部位別・周波数別)	
体成分算出	統計補正(人種、性別、年齢、体型)の排除	
ロゴ表示	結果用紙に施設名、住所、連絡先の記載が可能	
結果確認	LCD画面、結果用紙、データ管理ソフトLookinBody(オプション)	
結果用紙の種類	体成分結果用紙(専用/内蔵)、体水分結果用紙(内蔵)、サーマル結果用紙	
測定音	測定時の進行状況を知らせる案内音の設定可能	
測定姿勢	仰臥位・立位・座位	
測定画面	カラーLCDで測定過程と測定結果を表示	
管理者メニュー	測定環境に合わせてInBody S10の機器設定及び測定データの確認	
結果保存	ID入力時にInBody S10本体に測定結果保存(測定合計100,000回まで保存可能)	
データコピー	USBメモリーに保存可能(Excel、LookinBodyで確認可能)※(株)インボディ・ジャパンが推奨するUSBメモリー	
データバックアップ	USBメモリーで機器に保存されたデータのバックアップと復元	
プリンター接続	USBポート	
オプション	プリンターセット、プリンターデスク、データ管理ソフト(LookinBody120)、専用移動用カート、自動身長計付き体重計BSM370、バーコードリーダー	
使用電流	100μA未満(1kHz)、500μA未満(5kHz以上)	
消費電力	50VA	
電源アダプタ	[電源入力] 100~240~、50/60Hz、0.7~1.5A [電源出力] 12V、5A	
表示画面	800×480 Touch Color LCD	
入力インターフェース	タッチスクリーン、キーパッド	
外部インターフェース	RS-232C×1、USB HOST×1、USB SLAVE×1	
対応プリンター	(株)インボディ・ジャパンが推奨するプリンター	
装置寸法	[本体] W202×L322×H53mm [移動用カート装着時] W650×L650×H1100mm	
本体重量	[本体] 2.0kg [移動用カート装着時] 21.0kg	
測定時間	[メディカルモード] 60秒 [リサーチモード] 100秒 ※測定時間は測定姿勢や動作環境により異なる場合があります。	
動作環境	[温度] 10~40°C [湿度] 30~75%RH [気圧] 70~106kPa	
運送及び保管環境	[温度] -10~70°C [湿度] 10~80%RH [気圧] 50~106kPa(結露がないこと)	
体重範囲	10~250 kg	
身長範囲	110~220cm	
測定対象年齢	6歳以上	

* 性能改良のため仕様・デザインは予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

www.inbody.co.jp